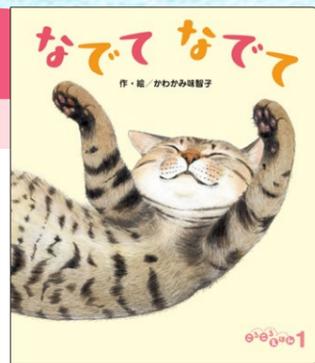


こころえほん

なでて なでて

●作・絵／かわかみ味智子

「なでて なでて」と、いろいろな動物たちが寄ってきます。実際に動物をなでるような気持ちで誌面を触ってみましょう。触るとどうなるか想像しながら、動物をなでる擬似体験が楽しめます。



しっぽ ふりふり
うれしいね
みんなも いっぱい
なでて なでて

ワンポイント アドバイス

ページをめくる前に、「ひよこさんを触ったら、どんな触り心地かな?」「かめさんは?」などと、想像しても楽しいです。「いぬさん、気持ちよさそうだね」「しっぽを振って喜んでいるのかな」などと話すと、動物の特徴を知ることができます。動物に合わせて、なでる場所やなで方を変えてもよいですね。

来月号は「どれで たべる?」です。お楽しみに!

キンダーおはなしえほん

くしゃみになる くすり

●作／ささがわいさむ 絵／花山かずみ

くしゃみが止まらないぼく。薬を飲んだのに「はっくちょう!」って、くしゃみをしたら、白鳥が出てきた! 「あくしゅ!」「はいしゃ!」「はくさい!」など、くしゃみのことばの響きが楽しい絵本です。



ホイップクリーム! ホップホップ! ホッピング!
ホイッスル! ホットケーキ! ホーホケチョ!

へんな くしゃみが いっぱい でて
ちつちつ もとに もどらない!
どろぼうの いかりが だいばくばつ。
はやく にげなしゃ!
は... は...

ワンポイント アドバイス

どろぼうに追われながら次々と変なくしゃみをしてしまう場面では、くしゃみをするように読むと盛り上がります。「はっくしょん!」と響きの似たことばを探したり、身のまわりにある物をくしゃみをするように言ったりして、ことば遊びをするのも楽しそうです。

来月号は「おじさんが ピンクが すきって へんじゃない?」です。お楽しみに!

キンダーメルヘン

ごめんね おやゆびくん

●作／正岡慧子 絵／あおきひろえ

ある日、ゆうくんはお皿を落としたり鉄棒から落ちてしまったり、失敗続き。「何かおかしい!」と言い始めたのは、ゆうくんの右手の指たちでした。ふだん特に意識することのない自分のからだの役割に気づけるお話です。



「ひだりだけじゃ うまくいかないや。」
それから ゆうくん、
お母さんに いっぱい てつだってもらったよ。
トイレに いくのも、お風呂で からだを あらうのも、
バジャマを きるのもね。

「ぼくたち こんなに げんきなのに、
しごと なんにも なくなっちゃったよ。」
なかゆびが つぶやくと、
「わたしたちだけじゃ うまくいかないよ。
おやゆびくんが いないとね。」
ひとさしゆびが、ちいさな こえて つぶやいた。

ワンポイント アドバイス

ゆうくんが親指をけがしてしまい、お母さんに身のまわりのことを手伝ってもらっているシーンです。「みんなは、けがをしたことはある?」「どんなことがたいへんだった?」などと、子どもたちの経験を聞いて、手以外の自分のからだに注目してみてもよいですね。

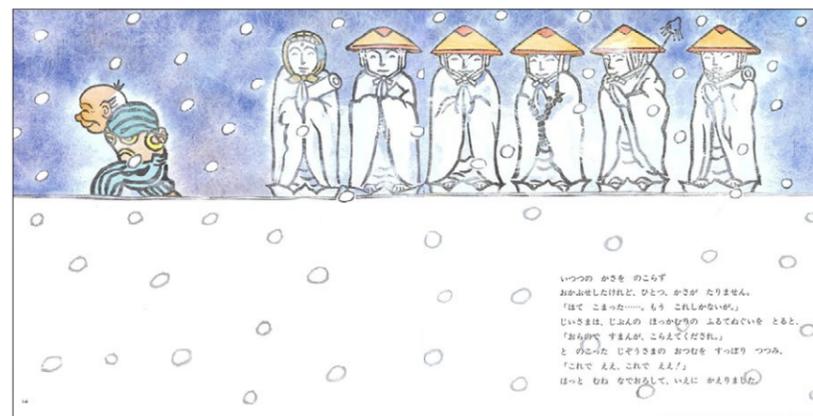
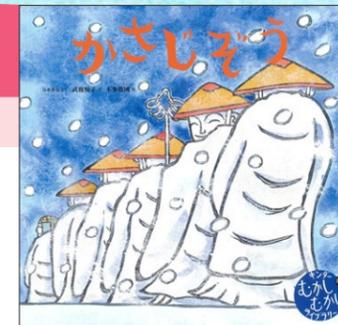
来月号は「いっすんぼうし」です。お楽しみに!

キンダーむかしむかしライブラリー

かさじぞう

●文／武鹿悦子 絵／本多豊國

お正月の準備に、街に布を売りに行ったおじいさん。売れ残った布と5つの笠を交換して帰る途中、雪の中に吹きさらしで立つお地蔵様を見つけ、笠をかぶせてあげます。すると、大晦日の夜、おじいさんの家に不思議な音が近づいてきて……。



いつの かさを のこらす
おかせたけれど、ひとつ、かさが たりません。
「はて こまった……。もう これしかないね。」
じいさんは、じいさんの ほんのけいり の ふらでぬいを とると、
「おんなの すまんが、こらえてください。」
と のこした じぞうさまの おつむを すっぴり つつみ、
「これで ええ、これで ええ!」
はっと むね をゆがして、いとしに おんまをよむ。

ワンポイント アドバイス

地蔵の恩返しであると同時に、人間の地蔵への恩返し話であるところに、この昔話ならではの温かさがあります。自分たちのことよりお地蔵様の身を思うおじいさんと、それをなじるどころか喜んで感謝するおばあさん。そんな素朴で人間味あふれる昔話として、語り伝えていきたいですね。

来月号は「おおきな かぶ」です。お楽しみに!